

韓国朝鮮語初級レベル
でも受講できます！

【観光・文化分野】～관광·문화 분야～

韓国朝鮮語CoToはじめ

～Real-Life Korean Conversations～

日時：11月11日、25日、12月2日、9日、16日
(月曜日 14:30～16:00)

教室：G206 担当：姜 信和先生

この講座では、前期に引き続き、韓国の日常生活におけるカジュアルで自然な表現を学習します。実際に行きたいところへ公共交通手段を利用して移動し、買い物や食事を楽しむ想定で実践的な会話の練習を行います。これらのリスニングとスピーキングの練習を通して、韓国の流行や文化の特徴も垣間見られるよう、授業では映像もふんだんに取り入れます。

* 本コースは、文字(ハングル)の読み書きができればどなたでも受講できます。未習者の場合、当プレ講座を受講するか、事前にiContactで学習しておいてください。

申込み：iCoToBa受付で申し込み、またはメールを（宛先：icotoba@for.aichi-pu.ac.jp）まで送ってください。※必ず件名に「韓国朝鮮語講座申込」と明記すること

※申込期限：11月6日（水曜日）17:00



[各回のテーマ]

- プレ講座(11月11日) ハングル概説
第1回(11月25日) 韓国コスメ店で
第2回(12月2日) 服や靴も買う
第3回(12月9日) レストランやカフェで
第4回(12月16日) デリバリーにも挑戦



姜 信和先生からのメッセージ



みなさん、まず日本を中心に据えた、見慣れた東アジア地域の地図を思い浮かべてみてください。それを180度くると回してみると、朝鮮半島から見て海の向こうに長く大きく横たわる、また別の日本列島の姿が見えてくるはずです。そう、私たちは対岸に位置する、たいへん隣接(neighbouring)している同じ地域の住人なのです。複数の大国の狭間にある半島は、歴史的に難しい状況に置かれがちでした。しかし、例えば海を挟んだロンドンとパリの若者たち、週末には互いに往来し、違う言語と文化を自然体で楽しんでいる彼らの姿は、日韓の私たちに多くの示唆を与えてくれます。百聞は一見にしかず、少し話せるようになって実際に韓国へ、見聞の旅に出かけましょう！

質問はiCoToBa受付またはicotoba@for.aichi-pu.ac.jpまで！